

#9 神聖な水流という唯一の流れの中にある、

使徒行伝の継続のための、 天のビジョンにしたがった神聖な委託

(国際長老責任者訓練)2019/1/7-1/13

I. 聖書の中で、神聖な水流、唯一の流れの概念は極めて重要です：

A. 聖書は流れる三一の神を啓示しています。御父は命の源であり、御子は命の泉であり、その霊は命の川です。

B. 流れの源は、神と小羊の御座です。

C. 聖書にはただ一つの流れ、ただ一つの神聖な水流があります。ただ一つの神聖な水流があり、その流れは唯一無二であるので、私たちは自分自身をこの一つの流れの中に保つ必要があります。

D. 神聖な水流、唯一の流れは、主の働きの水流です：

①一つの水流があり、それを私たちは働きの水流、働きの流れと呼んでもよいでしょう。水流が及ぶところに、神の働きがあります。②使徒行伝が啓示しているのは、主の行動にはただ一つの水流があるということと、私たちは自分自身をこの一つの流れの中に保つ必要があるということです。

③神聖な命の流れはペンテコステの日に開始しました。そしてこの流れはすべての世を通して今日に至るまで流れており、ただ一つの水流です。

④召会の歴史が示しているのは、各世代を通して常に流れているその霊の一つの水流があるということです。多くの人は主のために働いてきましたが、すべての人がその一つの水流の流れの中にいたわけではありません。【月】

II. 主はパウロに現れて、彼を主の働きの水流の中へともたらし、パウロが主を見た事と、主がパウロに現れようとしている事について、パウロを奉仕者、証し人としました：

A. パウロは天のビジョンに背きませんでした。このビジョンは、人が器であって、手順を経て究極的に完成された三一の神を内容とし、彼で満たされ、彼を表現するということ、またキリストが神の奥義であり、召会がキリストのからだ、すなわちキリストの奥義であるということです。

B. いったんあなたが神のご計画というビジョンを見て、あらゆるものからキリストご自身へと転向したなら、あなたの内側には、あなたを活気づけて、神のご計画を遂行させるものがあるようになります。あなたが使徒行伝の継続の中で生き、労苦するとき、このビジョンはあなたの負担となります。【火】

III. 使徒第26章18節が啓示しているのは、私たちが今日、使徒行伝の継続の中でキリストのからだの増し加わりと建造のために行なわなければならない働きです。この節は、私たちの神聖な委託のすべてを含む内容を明らかにしています：

A. これは神のヨベル、すなわち主の受け入れる年を実現するためであり、神の新約エコノミーにしたがって、ルカ第4章18節から21節で主イエスによって告知知らされています。

B. 私たちは使徒第26章18節の神聖な委託の内容について祈り、主に求めて、それらを私たちの経験と実際としていただく必要があります。それは、私たちが他の人たちをこの経験と実際の中へともたらすことができるためです：

①「彼らの目を開き」：**a.** 私たちは絶えず知恵と啓示の霊を求めて祈り、キリスト、キリストのからだ、神聖なエコノミーのための神聖な分与について、ますます多く理解し、見る必要があります。**b.** 私たちは主に対する新しい認識と主に対する新しいビジョンがなければ、前進することができません。**c.** 奉仕者、証し人となることは、教えや知識の事柄ではなく、現れとビジョンの事柄です。私たちが主を見た事と、主が私たちに現れようとする事は、私たちが他の人たちに供給しなければならぬ事です。**d.** 私たちの委託は、「奥義のエコノミー [経綸] が何であるかを、すべての人を照らして明らかにする」ことです。

②「彼らを暗やみから光へ…立ち返らせ」：**a.** 光は神の臨在です。**b.** 私たちは、光で満ちている人になる必要があります。**c.** 神が私たちに与えた分け前としてキリストを享受することは、「光の中」にあります。**d.** 私たちはこの世で発光体となって、命の言を提供する必要があります。**e.** 私たちを暗やみから驚くべき光の中へ召してくださった方の美德を、私たちが告げ知らせる必要があります。【水】

③「彼らを…サタンの権威から神に立ち返らせ」：**a.** 私たちの霊的経験の最高の点は、澄み渡った空とその上に御座を持つことです：(1) 澄み渡った空の上に御座を持つことは、私たちの存在の中で主に首位を与え、私たちが

の生活の中で主に最も高く最も卓越した地位を与えることです。

(2) 私たちの空が澄み渡れば澄み渡るほど、ますます私たちは御座の下におり、神の権威の下にいます。

(3) 神が私たちの中で御座を持つことは、彼が私たちの中で王として支配する地位を持つことを意味します。

(4) もし私たちが澄み渡った空の下にいて、その上に御座を持つなら、真の権威が私たちと共にあり、他の人たちを神の権威の下にもたらしませます。

b. 主に対する私たちの極みに至る愛は、私たちが資格づけ、成就し、装備して、主の権威をもって主のために語ることができるようになります。【木】

④「それは、…彼らが罪の赦し…を受けるためである」：

a. 私たちは主に行き、私たちのすべての罪の徹底的な赦しを受ける必要があります。**b.** ダビデは神に、彼の違反をぬぐい去り、彼を罪科から徹底的に洗い、彼の罪から彼を清め、ヒソブをもって彼の罪をきよめてくださるよう懇願しました：(1) ヒソブは、へりくだり卑しめられた人の性質におけるキリストを予表しており、キリストが私たちの仲保者また犠牲であることを暗示しています。(2) 私たちはダビデのように、神の御前にとどまり、徹底的な真の悔い改めと告白を持ち、神から完全な赦しを受ける必要があります。(3) もし私たちが自分の罪を告白して、神の赦しを受けるなら、私たちは神の救いの喜びを持ち、喜んで従う霊をもって支えられるでしょう。そうすれば私たちは、違反する者たちに神の道を教えることができ、罪人は神に戻って来るでしょう。

⑤「それは、私にある信仰によって、彼らが…聖別された人たちの間での嗣業を受けるためである」：**a.** この嗣業は、三一の神ご自身と、彼の持っているすべて、彼が行なったすべて、また彼の贖われた民のために行なおうとしているすべてです。

b. 三一の神は、すべてを含むキリストの中に具体化されています。このキリストは、聖徒たちに割り当てられた分け前であり、彼らの嗣業です。

c. 私たちが霊なるキリストを私たちの嗣業の担保として享受するのは、「聖別された人たちの間で」、すなわち召会生活の中です。

d. 私たちは人々を、召会生活の中にあるすべてを含むキリストの享受へともたす必要があります。それは彼らが、私たちと同じようにキリストを享受し、霊を活用することを通して、神の聖なる性質をもって、性情において聖別されるためです。【金】

IV. もし私たちが使徒行伝の継続の中にいようとするなら、上の部屋の献身を持つことによって、継続して神聖な歴史の中に生きる必要があります：

A. ペテロは海辺で自分の職業を放棄して、主イエスに従って行きましたが、上の部屋で、さらに多くのものを放棄しました：①彼は天のビジョンをもって立ち上がって、彼の先祖の宗教を放棄しました。

②彼は自分の故郷、進んで命の危険を冒しました。

B. 私たちが今日、必要とする献身は、上の部屋の献身です。このような献身において、私たちは代価を払い、私たちの全存在を天のビジョンと「結婚」させます。

C. もし私たちが天のビジョンのために代価を払うなら、「私たちの後ろの橋を燃やし」、後戻りする道を持たないでしょう。

D. 私たちが天のビジョンを見ているかどうかは、私たちが進んで代価を払って、目薬としての油塗る霊を買うかどうかにかかっています。

E. 主の回復の道を取ることは安っぽいものではありません。この道は大きな代価を払うものであり、代価を伴う献身を必要とします。

F. 私たちがここにいるのは運動のためではなく、主の回復のためです。回復は、上の部屋での特定の特別な献身によってのみ、完成されることができません。

G. 上の部屋にいた百二十人はみな、全焼のささげ物となりました。彼らは主のために霊の中で燃えており、また神聖な命の神聖な火をもって、他の人たちを燃やしました。

H. 主イエスが地上にいたとき、大群衆が彼について行きましたが、彼らは主の行動のために主に何も与えませんでした。主の行動は、上の部屋にいた者たちと共に、すなわち、その目が開かれ、その心が触れられている者たちと共にありました。

I. 世界を転換させ、時代を変えるのは少数の人たちです。私たちが上の部屋にいようとするなら、特別な方法で祈り、次に言う必要があります。「主よ、私はあなたの証しの回復のために、進んで上の部屋にいることを願います」。【土】

**Crucial Point ①: 知恵と啓示の霊により、
神聖なエコノミーと神聖な分与の祝福についてはっきり見て、
キリストと召会を宝とする**

OL1: 使徒第26章18節が啓示しているのは、私たちが今日、使徒行伝の継続の中でキリストのからだの増し加わりと建造のために行なわなければならない働きです。この節は、私たちの神聖な委託のすべてを含む内容を明らかにしています。

OL2: 「彼らの目を開き」: 私たちは絶えず知恵と啓示の霊を求めて祈り、キリスト、キリストのからだ、神聖なエコノミーのための神聖な分与について、ますます多く理解し、見る必要があります。

使徒26:18 彼らの目を開き、彼らを暗やみから光へ、サタンの権威から神に立ち返らせるのである。それは、私にある信仰によって、彼らが罪の赦しと、聖別された人たちの間での嗣業を受けるためである。

私たちが行なわなければならない第一のことは、他の人たちが見えるように助けることです。このことを行なうために、私たち自身がビジョンを持ち、また天的な事柄を見なければなりません。私たちは教えられることによってではなく、キリストが私たちに現れることによって、キリストに関する事柄を見なければなりません。あなたはビジョンを見た後、人々と接触し、彼らに、イエスがあなたに現れた事と、あなたが彼を見た事を告げる必要があります。低く、伝統的な福音を宣べ伝えてはなりません。この貧弱な福音を受け入れた多くの人は依然として盲目であり、暗やみの中にいます。人々に宗教を教える必要はありません。すなわち、彼らの目を開き、彼らを暗やみとサタンから光と神へ立ち返らせなさい。このように立ち返ることによって、彼らは暗やみの邪悪な力、すなわちサタンの権威から神に解放されます。結果として、彼らは罪の赦しと、聖別された人たちの間での分け前を受けます。救われ、赦されたすべての者は聖徒であり、すべての聖徒は分け前を持っています。

コロサイ人への手紙によれば、聖徒たちの分け前はキリストご自身にほかなりません。キリストは私たちに割り当てられており、私たちはみな彼の中で分け前にあずかっています。…私たちの分け前であるキリストは新エルサレムにおいて究極的に完成します。サタンから神に立ち返る者たちは個人的に分け前を持っているのではなく、すべての聖徒と共に団体的に、集団的に分け前を持っています。これは彼らが召会生活の肢体である者たちの間で分け前を持っていることを意味します。

使徒行伝第26章18節で完全な福音が提示されています。この一つの節の中には**七つの要点**があります。

- i. 人々の目を開くこと
- ii. 彼らを暗やみから光へ立ち返らせること
- iii. 彼らをサタンの権威から神に立ち返らせること
- iv. 彼らを助けて罪の赦しを受けさせること
- v. 彼らを助けて信仰によって聖別すること
- vi. 彼らに聖徒たちの間での共通の分け前を持たせること
- vii. 召会生活の中にいること

適用: 青年在職・大学院生、結婚生活編

エペソ1:17 どうか、私たちの主イエス・キリストの神、栄光の御父が、知恵と啓示の霊をあなたがたに与えて、あなたがたに彼を十分に認識させ、**18** あなたがたの心の目が照らされ、神の召しの望みがどんなものであるかを、あなたがたが知るように。

3:9 それはまた、万物を創造された神の中に、各時代

にわたって隠されてきた奥義のエコノミーが何であることを、すべての人を照らして明らかにするためであり、

パウロの完全な福音の祝福の第一番目は、「目を開き」です。主はあなたの心の目を開き、神のご計画、神のエコノミーが何であることを見せてくださいます。神のエコノミーは万物を創造された神の中に、各時代にわたって隠されてきました。しかし今それは新約の信者に開かれています。ハレルヤ！主に感謝、賛美します。

1コリント2:9 このように書かれているとおりです、「目が見たこともなく、耳が聞いたこともなく、人の心に思い浮かんだことのないものを、神はご自身を愛する者たちのために備えてくださった」。

あなたは自分の過去の経験から来る観念に留まってはけません。神のエコノミーの中での、神のあなたに対する祝福と期待は、すばらしく卓越したものです。したがって自分の観念に留まっていると、神の祝福を理解できず、神のエコノミーを通常の祝福と捉え、聖霊を悲しませてしまいます。

神の永遠の祝福は物質のものではなく、霊的なものであり、それは手順を経た三一の神ご自身です。あなたは今、物質の領域の中に生きていますので、物質の領域のことを高く評価し、霊的な祝福を軽視する可能性があります。しかし次の時代の千年王国が出現すると、誰も物質の領域の祝福を霊的な領域の祝福より大きく見る者はおられません。

今あなたに対する神からのチャレンジがあります。それはすべてが明らかになる前の現在の時代に、「**心の目が開かれて、聖徒たちの中にある神の嗣業の栄光がどんなに豊富であるかを知(エペソ1:18後半)**」り、キリストと召会を宝とすることです。もしあなたの目が開かれて、神ご自身と神のエコノミーを見ることができれば、あなたはこれを宝とし、キリストと召会に優先順位を置くでしょう。もちろん神はあなたの物質の領域の必要を顧みてくださいます。

さらにあなたはキリストと召会を宝とするので、人々の前で主イエスの御名を言い表し、キリストと召会について証しする必要があります。あなたは決して、「私は心の中で主を信じているので、人々の前で主を信じていることを言わなくてもいい」と考えてはいけません。聖書はそうのように言うておりません。

マタイ10:29 二羽のすずめは一アサリオンで売られているのではないか？ しかもその一羽でさえ、あなたがたの父の許しがなければ、地に落ちることはない。

30 あなたがたの頭の毛でさえ、すべて数えられている。

31 だから、恐れてはならない。あなたがたは、多くのすずめよりもはるかに貴重である。32 それゆえに、だれでも私の中で、人々の前で私を言い表す者は、私もその人の中で、天におられる私の父の御前でその人を言い表す。33 しかし、だれでも人々の前で私を否む者を、私も天におられる私の父の御前で否む。

人々の前で主を証ししない人は、目が開かれておらず、キリストと召会を宝としていない人です。

祈り: 「おお主イエスよ、どうか主が私の目を今の時代に開いてくださいますように。私が持っている三一の神ご自身の祝福がどんなに偉大ですばらしいものであるかを知ることができますように。それは私が恐れずに人々の前で証しをする人になるためです。あなたの王国の出現の前に(株価が上がって購入できなくなる前に)、キリストと召会の株に全生涯を投資する賢い人になることができますように。アーメン！」

**Crucial Point ②: 自分の罪を告白し、
とがめのない良心を持つことを訓練する**

OL1: 私たちは主に行って、私たちのすべての罪の徹底的な赦しを受ける必要があります。

詩51:1 あなたの大きなあわれみにしたがって、私の違反をぬぐい去ってください。2 私を罪科から徹底的に洗い、私の罪から私を清めてください。7 ヒソプをもって、私の罪をきよめてください。私は清くなるでしょう。私を洗ってください。私は雪よりも白くなるでしょう。

使徒24:16 このことで、私も神と人に対して、とがめのない良心を常に持とうと、自分自身を訓練しております。

ダビデのように、私たちは神の臨在の中にとどまり、私たちが罪の中で生まれたことを告白し、神が私たちを洗い、清め、私たちの違反をぬぐい去り、私たちの罪をきよめてくださるよう懇願する必要があります。このように祈ることは、私たちが自分自身に信頼しないことを示します。私たちは罪深く、神は聖であると認識して、ただ彼に信頼します。また、私たちは、キリストを私たちの仲保者また私たちの犠牲とする必要があることを認識します。

7節前半でダビデは祈りました、「ヒソプをもって、私の罪をきよめてください。私は清くなるでしょう」。ヒソプは、へりくだり卑しめられた人性におけるキリストを予表します。詩篇第51篇7節前半のヒソプは、仲保者また犠牲としてのキリストを暗示します。

10節でダビデは祈りました、「神よ、私の中に清い心を創造し、私の内にある堅固な霊を新しくしてください」。ここの「清い」という言葉のヘブル語は、「純粋な」とも訳すことができます。ダビデは自分を赦しきよめるだけでなく、新しくしてくださるよう嘆願しました。私たちは罪を犯すことによって古くなりますが、神によって赦された後、新しくされることができます。こうして、私たちは神の赦しを享受した後、彼が私たちを新しくしてくださるよう求める必要があります。

11節でダビデは続けます、「私をあなたの御顔から投げ捨てず、あなたの聖別の霊を私から取り去らないでください」。私たちは新しい心と堅固な霊を必要とするだけでなく、神の御顔も必要とします。…神の臨在とは、実はその霊です。その霊が去るなら、神の臨在も去ります。

8節前半でダビデは、「私に楽しみと喜びを聞かせて」と祈り、12節で彼は求めました、「あなたの救いの喜びを私に戻し、喜んで従う霊をもって私を支えてください」。ここで私たちは、喜びと喜んで従う霊の結び付きを見ます。私たちは幸いであるとき、喜んで従う霊を持ちます。これは勝利の命です。その反対に、敗北した人は幸いではなく、喜んで従う霊を持っていません。そのような敗北した人が自分の罪を告白し、神に赦しを求めるなら、神の救いの喜びを持ち、喜んで従う霊を持つでしょう。神の救いの喜びによって、喜んで従う霊が私たちの内側を支えます。

私たちが悔い改め、自分の罪を告白し、神にきよめを求める者であるなら、彼の家(地方召会)と神の都(宇宙召会)の中で、キリストにある神に対する享受を持つでしょう。

適用: 新人、中高生・大学生編

Iヨハネ1:7 しかし、神が光の中におられるように、私たちが光の中を歩くなら、私たちは互いに交わりを持ち、御子イエスの血が、すべての罪から私たちを清めます。

8 もし、自分には罪がないと言うなら、私たちは自分を欺いているのであって、真理は私たちの中にもありません。

9 もし、私たちが自分の罪を告白するなら、神は信実で義であられるので、私たちの罪を赦し、すべての不義から私たちを清めてくださいます。

ダビデは神の御前に留まり、照らされ暴露された罪を徹底的に告白しました。あなたは主を信じた時にそれまでの罪は赦されましたが、信じた後に犯す罪については主の光の下で照らしていただき、そして照らされた罪を一つ一つ告白すべきです。ここで重要な点は、主との交わりの中で照らされた罪を一つ一つ徹底的に告白することです。墮落した人は罪を隠そうとする強い傾向があります。しかし信者であるあなたは罪を隠すのではなく、主の前で告白する必要があります。このことは以前の墮落した人の習慣とは異なるので、あなたは神の御言葉に従って自分自身を訓練し、最初は罪の告白を強いて実行しなければなりません。

詩32:5 私は自分の罪をあなたに知らせ、私の罪科を覆いませませんでした。私は言いました、「私の違反をエホバに告白しよう」。その時、あなたは私の罪の罪科を赦されました。

箴言28:13 自分の違反を覆う者は栄えることがない。しかし、告白してそれを捨てる者はあわれみを得る。

また自分の罪を告白する時、あなたは他人の罪を告げることによって言い訳を述べてはいけません。聖書はあなたが自分自身の罪を告白するように書いており、人の罪を告白するように書いておりません。人の罪を告白することは、自分の罪を隠すことです。

あなたが自分の罪を告白する目的は、あなたを辱めるためではありません。それはあなたが祝福され、さらに主との命の交わりの中で成長するためです。

物質の身体健康について考える時、あなたは朝食を取った後、その日の活動を開始し、昼食を取って活動を継続し、その後夕食を取り、就寝前にお風呂に入ります。お風呂に入り身体を清潔に保たなければさまざまな小さな病、例えば水虫、皮膚炎、悪臭などに悩まされるようになります。日常生活で毎日実行する重要なことは、食べること、活動すること(学ぶことや働くこと)、身体を洗い清潔に保つこと、休息を取ることです。ここで身体を洗うことが、霊的な生活では罪を告白しイエスの血を適用し、良心を清めることにあたります。ですから罪の告白は、たまに行うのではなく、毎日行う必要があります。さらに日中たびたび手を洗うように、照らされたらその都度自分の罪を告白すべきです。

お医者さんは身体を洗う時、身体全体を大まかに洗うだけでなく、足の指の間、耳の後側などの細かい部分もしっかり洗うように指導しています。このことはあなたが罪を告白する時に、一般的に告白するのではなく、細かく一つ一つの罪を具体的に告白する必要がありますことを示します。

祈り: 「おお主イエスよ、私は毎日シャワーを浴びるように、毎日照らされた罪を一つ一つ告白して、イエスの血で清められる必要があります。主よ、あなたの御前に出て悔い改め、他人の罪を告白するのではなく、自分の罪を告白します。主よ、毎日の罪の告白により、私が毎日成長することを助けてください。」

詩歌: 228 (E280)

1. 主よ、血しおにて われをあらい、
きよきあぶらを そそぎたまえ。
わがせいかつは 失ばいのみぞ、
れいに満たせや、 主のため生く。

ああ、主よ、
自己より、
解きはなちませ!
いまよりとわに
主を満たせや。

第一系列：高い福音

第四題目：聖書（上）

Ⅱ テモテ 3:16 聖書はすべて、神の息吹かれたものであり、人を教え、戒め、矯正し、義の中で訓練するのに益があります。

聖書はこの世のすべての本よりまさります。それは一つの唯一の本です。アメリカの元大統領であったリンカーンは、かつてこのように言いました。「聖書は神が人に与えられる最上の贈り物である。この世の救い主から与えられる良きものはすべて、この本を通して私たちに与えられる」。聖書は世界で最も広く読まれている本であって、一千以上の言語に翻訳されており、これは世界中の他のいかなる本より多いものです。数えきれない人々が聖書にやってきて、困難に遭遇してどうしたらよいかかわからない時慰めを見だし希望を見だし、導きを得ました。

聖書(Bible)という言葉は、ギリシャ語の「ヒックスビブ(biblos)」という言葉から来たもので、それは「その本(the book)」という意味です。つまり世界中のどの本も、聖書に匹敵するものはないということです。

聖書は西洋においても東洋においても、すべての古典的書物の中で最高のものです。

聖書は、その記録において最高である

第一の事実は、聖書、その記録の真実性において、他のすべての書物と比べることができません。他の宗教の経典は、新話(作り話)とか伝説で満ちています。けれども聖書の中に見出されるのは、無数の実際の出来事、実際の人、実際の場所です。聖書の各書で言及されていることの正確さは、この世の歴史的記録に従い、考古学にとって確認されています。

聖書は、全能の永遠の創造者について告げています。彼は無から天、地、万物を含む宇宙を創造されました。創世記の創造の記録は、科学的な表現ではありませんが、科学的な証拠と完全に調和しています。

聖書は、その知恵と深さにおいて最高である

第二に、聖書は人と神との関係、人と人の関係、人の考え、意図、振る舞い、日常生活について特別な知恵を見せています。旧約時代、地上の文化はほとんどが多神教で、ひとり以上の神を信じる信仰でした。大多数のいわゆる神々は、残酷で、荒々しく、時には不道德なことも描かれています。しかし聖書一人の唯一の神を啓示します。彼は無限で格位(パーソン)を持ち、父として夫として人を顧み、愛、尊敬、公正、あわれみの化身です。

聖書は、またあらゆる種類の知識をも包含します。例えば、神学、人文科学、天文学、地質学、科

学、哲学、社会学、政治、教育、文化、終末論などを包含します。

聖書は、倫理と道徳において最高である

聖書ほど高い水準の倫理、道徳を内容とする本はほかにありません。聖書は、人間の正当な愛は辛抱強く、親切で、ねたまない、誇らない、思い上がらないものであると記述しています。その敵さえ赦す大きな愛を示しています。その愛は人のためにひとり子を与えた神ご自身の行為の中に表れています。クリスチャンは愛の中を歩む人々です、また召会は愛の中で建造された共同体です。

聖書は、その影響力において最高である

歴史を通じて、多くの有名な人たちは、聖書を読むうちにキリストを信じるよう促されました。フランスの皇帝、ナポレオンは敗北して、セント・ヘレナ島に流刑にされた時、「私も他の偉大な指導者たちも武力によって帝国を立てたが、イエス・キリストは愛をもって彼の王国を建てた」と告白しました。彼はまた「自分のために死んでくれる者を集めることはできたが、そのためには、じかに出会ってそうすうよう話さなければならなかった、ところが十八世紀にもわたって、無数の男女が進んでイエス・キリストのために、喜んで、しかも一度も彼を見たこともないのに、自分の命をささげている」と告白しています。そうなに多くの人が進んですべてを放棄し、キリストに従い、キリストのために殉教したのは、彼らが聖書の中に啓示されているキリストを見たからです。

詩歌 579 聖書を読む—神の御言の機能(英 799)

1. せい書はかみのいぶき、 かみの霊にて息吹かれた；
かみ・ひと通して書かれ、 かみの豊富、 吸い込ませる。
2. いぶきはひかりとなり、 神せいなひかりで照らす；
ひとの真のひつようと、 実さいのじょうたい見せる。
3. いぶきはいのちとなり、 神せいなせいしつ分与す；
死人生かし、 さいせいし、 更しんして、 つくり変える。